

# 自立運転型ハンドリング & OMタッチパネルリモコン 交換のススメ

ハンドリングボックスや制御盤は、設置から15～20年以上経過すると徐々に部品の寿命を迎えはじめます。長くOMソーラーの家にお住まいいただくためにも、最新機種への交換をお勧めいたします。

## 交換の メリット



- ① グッドデザイン賞受賞の**タッチパネル**で現在の運転状況や空気の動きがアニメーションでよりわかりやすくなる
- ② LEDランプで運転モードやエラーの有無が一目でわかる
- ③ **エコナビOM**(※下記参照)に接続すればインターネット上から運転状況がわかる！スマホからの操作も可能。遠隔で工務店さんに運転状況を確認してもらえる
- ④ 季節モードを自動判定。手動による切替も可能
- ⑤ 夏は定期的な室内排気運転で室内の空気をこもらせない

## さらにオプションで機能追加

- ☀️ PM2.5も除去する空気清浄機OMエアフォールと連動運転
- ☀️ 専用の太陽電池を設置すれば停電時も運転できる(自立運転)

## エコナビOM

エコナビOMでは、ご自宅のOMの運転状況や温度のグラフだけでなく、データを公開している全国のOMソーラーの家の運転状況と環境家計簿もご覧いただけます。





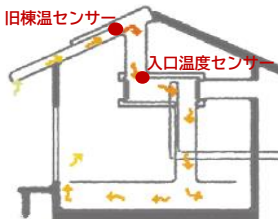
## 旧製品の修理対応終了について

販売終了より15年以上経過した制御盤の修理対応は、現在部品の供給が難しくなったため終了させていただいております。制御盤が故障した場合は、ハンドリングボックスと制御盤ごと現行機種へ交換をお願いしています。ダンパーモーター等のハンドリングボックスの部品交換が可能な機種もございますが、それらを交換後に制御盤が故障した場合、ハンドリングボックスごと交換の必要がございます。



現在お使いの機種からの変更点については裏面をご覧ください ⇒

現在お使いの機種からの変更点

機能のちがい 機種	現在お使いのT型制御盤  サイズW232×H272×D50mm	Y2型(タッチパネルタイプ)  サイズW120×H120×D24mm
季節モードの切り替え	手動	自動 or 手動
設定の変更操作	ボタン + ダイヤル	 <p>タッチパネル画面を切替え操作</p> <p>タッチパネル操作の様子を動画でご覧いただけます。</p>
お湯採り	アナログ・デジタル2桁制御盤・・・自動 デジタル3桁制御盤・・・手動	自動
棟温度センサー	あり	<p>なし(入口温度兼用) ※棟温センサーによる雷故障軽減とメンテナンス性向上を目的とした変更</p>  <p>※棟温表示(入口温度)がこれまでより低くなりますが、集熱量は変わりません。</p>
集熱開始制御	棟温度設定(固定)	<p>採り運転 + 棟温度設定</p> <p>※採り運転とは・・・運転開始条件になったか確かめるため、定刻になると一時的に集熱取り込みをする運転(夏も一時的に集熱取り込み運転をします)</p> <p>※運転開始時間がこれまでより遅くなる場合があります。</p> <p>※棟温センサーを設置し棟温制御に変更することも可能です。</p>
冬の排気運転の制御(オーバーヒート対策)	ソーラー・貯湯排気モードのとき 室温設定 < 室温	冬モードのとき 室温設定 ≤ 室温 + 3°C
夏(日中)の取入運転の制御	ソーラー・貯湯排気モードのとき 室温設定 > 室温	室温設定 - 10°C > 室温
夏(夜)の外気取入運転の制御	冷風(涼風)モードで全ての条件が揃うとき 外気温 < 室温 + 設定室温 < 室温 + 棟温 < 40°C	室温 - 1°C ≥ 外気温 (運転時間は20時～5時)
夏排気運転時の室内排気	○ 季節問わず手動	○ 自動
ファン	プロペラファン/斜流ファン /シロッコファン	シロッコファン(音が静か)
湯温表示	×	○ オプション(別途工事必要)
強制停止操作	×	○ 全閉停止